

# 2021年12月期 決算説明資料

---

2022年2月10日  
サイバーコム株式会社  
東証一部 <3852>

I . 2021年12月期の決算内容	.....	P 3
1. 決算概要	.....	P 4 ~ 5
2. 営業利益増減分析	.....	P 6
3. セグメント別業績	.....	P 7
4. 貸借対照表	.....	P 8
5. キャッシュ・フロー	.....	P 9
6. 株主還元	.....	P 10
II . 中期経営方針と業績予想	.....	P 11
1. 中期経営方針	.....	P 12
2. 業績予想	.....	P 13
3. 株主還元（予想）	.....	P 14
III . 参考資料	.....	P 15 ~ 18

# I . 2021年12月期の決算内容

---

## 1. 決算概要

## 2021年12月期 実績（計画比較）

（単位：百万円）

	計画 (21/01-21/12)	当期実績 (21/01-21/12)	増減／計画比	
売上高	14,400	15,528	1,128	+7.8%
営業利益	850	953	103	+12.2%
営業利益率	5.9%	6.1%	—	—
経常利益	850	1,031	181	+21.3%
経常利益率	5.9%	6.6%	—	—
当期純利益	572	704	132	+23.2%
当期純利益率	4.0%	4.5%	—	—
1株当たり 当期純利益	71.31円	87.86円	16.55円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	10.0%	12.2%	2.2%	—

◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業で通信ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発が好調に推移したことに加え、サービス事業も好調に推移したことから 155億28百万円（計画比 7.8%増）と**計画を上回る結果**となりました。

◇営業利益は、増収及び出張旅費の減少に加え各種イベントの実施方法変更による経費の減少等により 9億53百万円（計画比 12.2%増）と**計画を上回る結果**となりました。

◇当期純利益は、7億4百万円（計画比 23.2%増）と**計画を上回る結果**となりました。

## 1. 決算概要

## 2021年12月期 実績（前期比較）

（単位：百万円）

	前期 (20/01-20/12)	当期実績 (21/01-21/12)	増減／増減比	
売上高	13,672	15,528	1,856	+13.6%
営業利益	827	953	125	+15.2%
営業利益率	6.1%	6.1%	—	—
経常利益	842	1,031	188	+22.3%
経常利益率	6.2%	6.6%	—	—
当期純利益	549	704	155	+28.4%
当期純利益率	4.0%	4.5%	—	—
1株当たり 当期純利益	68.45円	87.86円	19.41円	—
R O E (自己資本当期純利益率)	10.4%	12.2%	1.8%	—

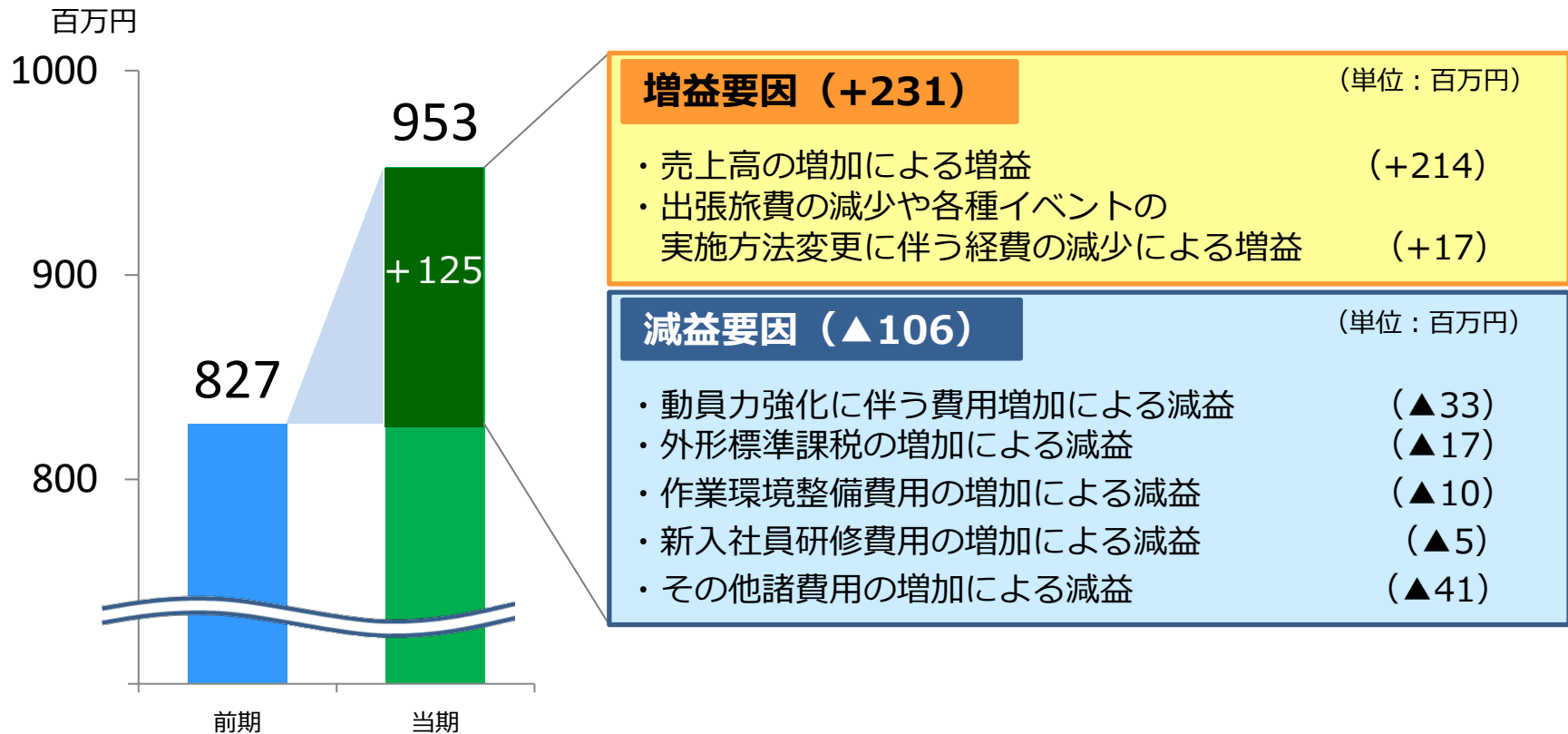
◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業で通信ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発が好調に推移したことに  
加え、サービス事業も好調に推移したことから 155億28百万円（前期比 13.6%増）と増収になりました。

◇営業利益は、増収及び出張旅費の減少に加え各種イベントの実施方法変更による経費の減少等により  
9億53百万円（前期比 15.2%増）と増益になりました。

◇当期純利益は、7億4百万円（前期比 28.4%増）と増益になりました。

## 2. 営業利益増減分析

## 2021年12月期 実績（前期比較）



## ◇営業利益の増加要因

増収効果に加え、感染症拡大に伴う出張旅費の減少や各種イベントの実施方法変更による経費の減少等により前年に比べ増益となりました。

## 3. セグメント別業績

## 2021年12月期 セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前期差	前期比	実績	利益率	前期差	前期比
ソフトウェア開発事業	12,238	78.8%	1,543	+14.4%	1,754	14.3%	189	+12.1%
通信ソフトウェア開発	3,256	21.0%	933	+40.2%	397	12.2%	79	+24.8%
制御ソフトウェア開発	2,685	17.3%	▲36	▲1.3%	404	15.1%	▲6	▲1.7%
業務ソフトウェア開発	6,296	40.6%	647	+11.5%	953	15.1%	117	+14.0%
サービス事業	3,263	21.0%	336	+11.5%	414	12.7%	▲1	▲0.5%
ファシリティ事業	26	0.2%	▲24	▲47.3%	7	29.7%	8	—
本社調整 (※)	—	—	—	—	▲1,223	—	▲70	—
合計	15,528	100.0%	1,856	+13.6%	953	6.1%	125	+15.2%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、第5世代移動通信のコアネットワーク装置開発等の案件が好調に推移し、売上高は前期比40.2%増、セグメント利益は前期比24.8%増と大幅な**増収・増益**になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、車載システム開発案件等が減少し、売上高は前期比1.3%減、セグメント利益は前期比1.7%減と**減収・減益**になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、製造業システム、流通系システム、金融系システム等の開発案件が好調に推移し、売上高は前期比11.5%増、セグメント利益は前期比14.0%増と**増収・増益**になりました。
- ◇サービス事業は、SIサービス（構築・保守・運用・評価検証サービス）において社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、セキュリティ対策案件、ネットワーク構築案件が堅調に推移し、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件が好調に推移しました。また、自社プロダクトであるCyber Smartシリーズ製品（Cyber IP-PBX、Cyber CTI、Cyber Phone）では、コールセンター構築や年間保守の増加により好調に推移しました。

## 4. 貸借対照表

## 貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2020/12	当期末 2021/12	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>6,162</b>	<b>7,502</b>	<b>1,339</b>
現金及び預金	919	912	▲7
受取手形及び売掛金	3,117	3,509	392
商品	3	6	2
仕掛品	39	88	48
短期貸付金	1,994	2,842	847
その他	87	142	55
<b>固定資産</b>	<b>3,546</b>	<b>3,635</b>	<b>89</b>
有形固定資産	2,540	2,478	▲61
無形固定資産	39	18	▲21
その他	966	1,138	172
<b>資産合計</b>	<b>9,708</b>	<b>11,137</b>	<b>1,428</b>
<b>流動負債</b>	<b>2,096</b>	<b>2,765</b>	<b>668</b>
買掛金	477	598	120
未払費用	275	504	229
未払法人税等	151	430	279
賞与引当金	632	722	89
役員賞与引当金	24	28	4
その他	535	480	▲55
<b>固定負債</b>	<b>2,127</b>	<b>2,326</b>	<b>199</b>
退職給付引当金	2,094	2,288	194
役員退職慰労引当金	32	38	5
<b>負債合計</b>	<b>4,224</b>	<b>5,092</b>	<b>868</b>
<b>純資産合計</b>	<b>5,484</b>	<b>6,044</b>	<b>560</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,708</b>	<b>11,137</b>	<b>1,428</b>

## 主な増減要因

- ①CMS貸付金の増加
- ②増収による未払法人税の増加

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っております。

## ◇ご参考

	2020年12月末	2021年12月末
1株当たり純資産	683.77円	753.64円
自己資本比率	56.5%	54.3%



## 5. キャッシュ・フロー

## キャッシュ・フローのポイント（前期比較）

（単位：百万円）

	前期 (20/01-20/12)	当期 (21/01-21/12)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	997	1,043	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲770	▲907	▲136
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲136	▲143	▲6
現金及び現金同等物の増減額	90	▲7	▲97
現金及び現金同等物の期首残高	829	919	90
現金及び現金同等物の期末残高	919	912	▲7

## ◇営業活動によるキャッシュ・フロー

増収による収入増加及び感染症拡大による経費減少に伴う支出の減少により10億43百万円の収入（プラス）となりました。

## ◇投資活動によるキャッシュ・フロー

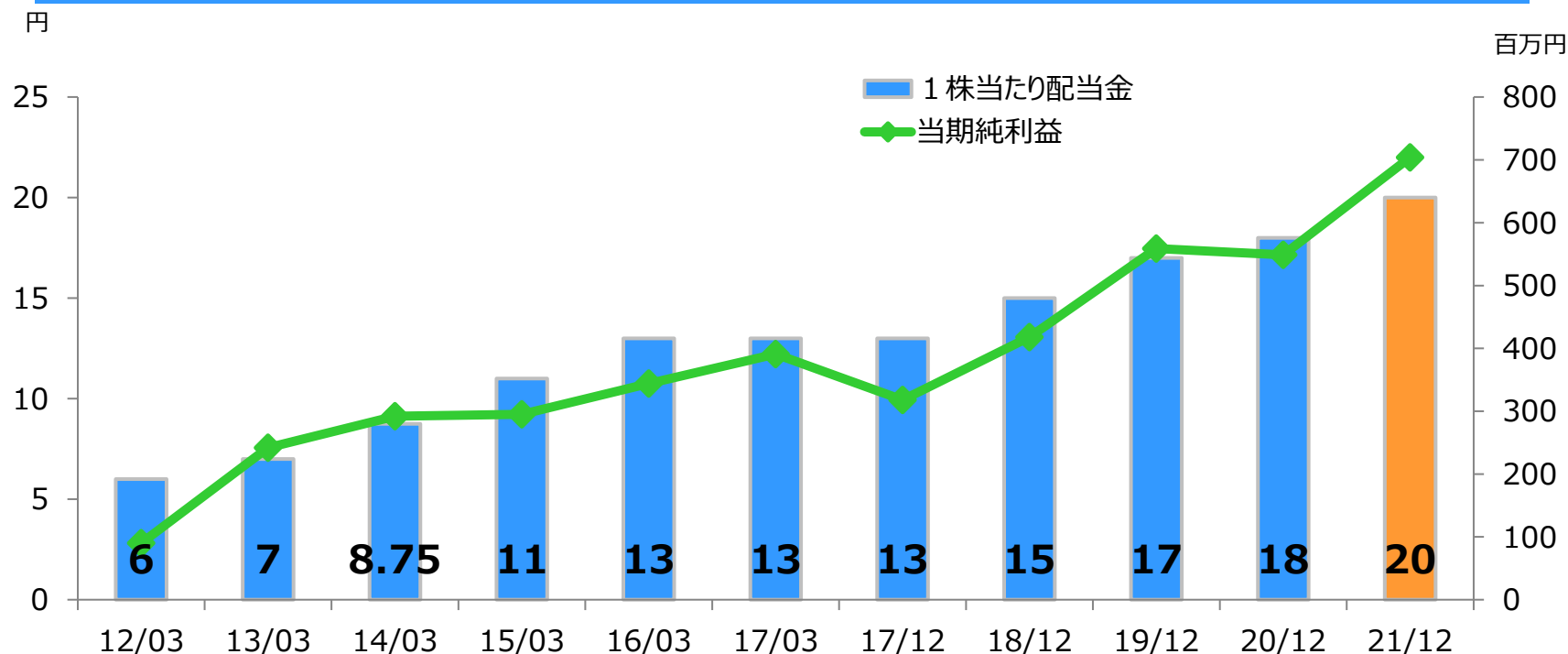
CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）への短期貸付金の貸付等により9億7百万円の支出（マイナス）となりました。

## ◇財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いを行い1億43百万円の支出（マイナス）となりました。

## 6. 株主還元

**配当金（年間）：1株につき20円**  
**（配当金総額：160百万円 配当性向22.8%）**



※15/03期の配当金：普通配当 9.5円 + 東証二部上場記念配当1.5円

※16/03期の配当金：普通配当11.5円 + 東証一部指定記念配当1.5円

※17/12期の配当金は決算期変更により2017年4月から12月の9ヶ月間を対象期間としております。

当期の利益配当につきましては、取締役会を決定機関として1株当たり20円の期末配当として決議しております。

## Ⅱ. 中期経営方針と業績予想

---

## 1. 中期経営方針

### 2021～2023年度方針

『サイバーコムビジョン2023 ～増収増益の継続～』

1. 満足度の追求
2. サービス提供型ビジネスへの転換
3. 戦略的投資による拡大

### 環境経営方針

NEW

『「環境」と「暮らし」をICTで支える』

### 2022年度基本方針

「ビジネス変革！」

～ 変化と創造 (Change & Creation) ～

## 2. 業績予想

## 2022年12月期 業績予想

(単位：百万円)

	当期実績 (21/01-21/12)	業績予想 (22/01-22/12)	増減／増減比	
売上高	15,528	16,300	+771	+5.0%
営業利益	953	1,000	+46	+4.8%
営業利益率	6.1%	6.1%	—	—
経常利益	1,031	1,020	▲11	▲1.1%
経常利益率	6.6%	6.3%	—	—
当期純利益	704	700	▲4	▲0.7%
当期純利益率	4.5%	4.3%	—	—
1株当たり 当期純利益	87.86円	87.27円	▲0.59円	—

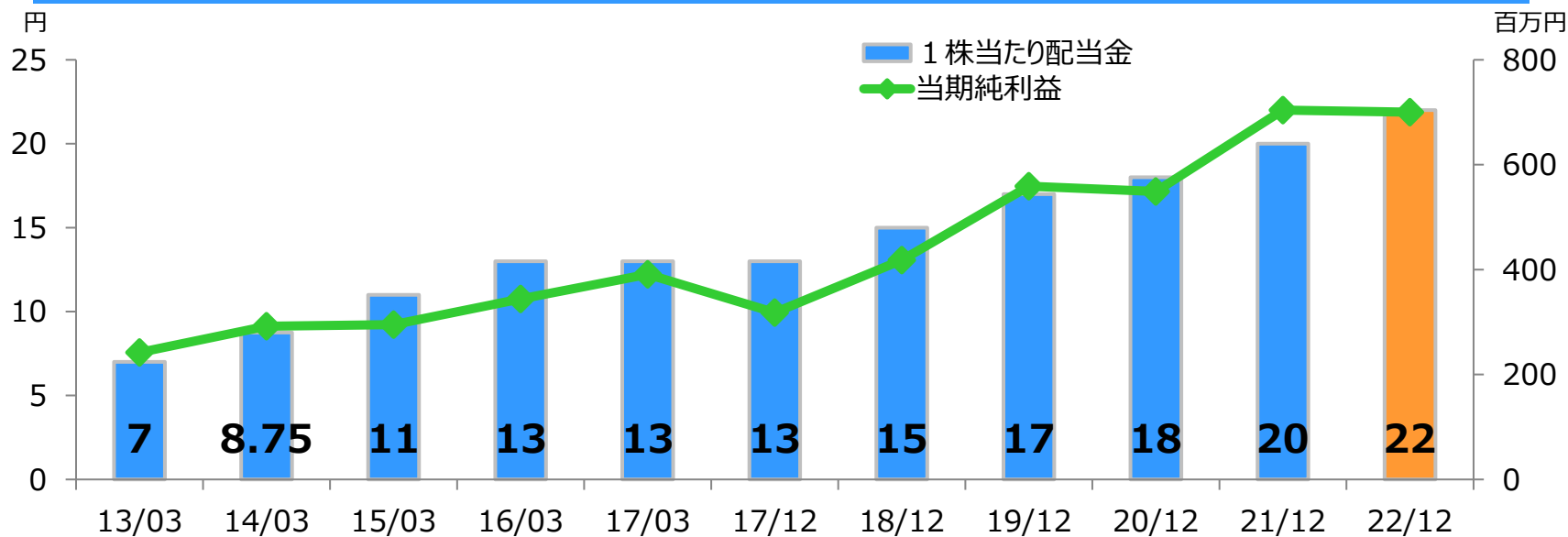
次期につきましては「ビジネス変革」を基本方針としており、オンラインを活用した事業活動を積極的に推進することにより、売上高としては163億円（当期比5.0%増）と増収を見込んでおります。

利益につきましては、技術者不足解消に向けた新卒及び中途採用施策の強化による人材確保、AWS（Amazon Web Services）を始めとしたクラウド対応力強化等の高度最先端技術教育、オンライン時代の対応力強化に向けた情報セキュリティ対策の強化及びリモートワーク環境の拡充等の費用を見込み、営業利益は10億円（当期比4.8%増）と増益を見込んでおります。

なお、前期の助成金収入の影響により当期純利益は7億円（当期比0.7%減）を見込んでおります。

## 3. 株主還元（予想）

**配当金（年間）：1株につき22円**  
**（配当金総額：176百万円 配当性向25.2%）**



※15/03期の配当金：普通配当 9.5円 + 東証二部上場記念配当1.5円

※16/03期の配当金：普通配当11.5円 + 東証一部指定記念配当1.5円

※17/12期の配当金は決算期変更により2017年4月から12月の9ヶ月間を対象期間としております。

当社の利益配分は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための事業拡大、人材育成やオフィス環境整備などの戦略的投資に加え、情報セキュリティ強化への積極的投資、さらには、新製品及び新サービス創出のための研究開発投資やM & A等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、次期の利益配当につきましては1株当たり22円を予定しております。

## III. 參考資料

---

## 1. 参考情報（セグメント別売上高）

## セグメント別売上高

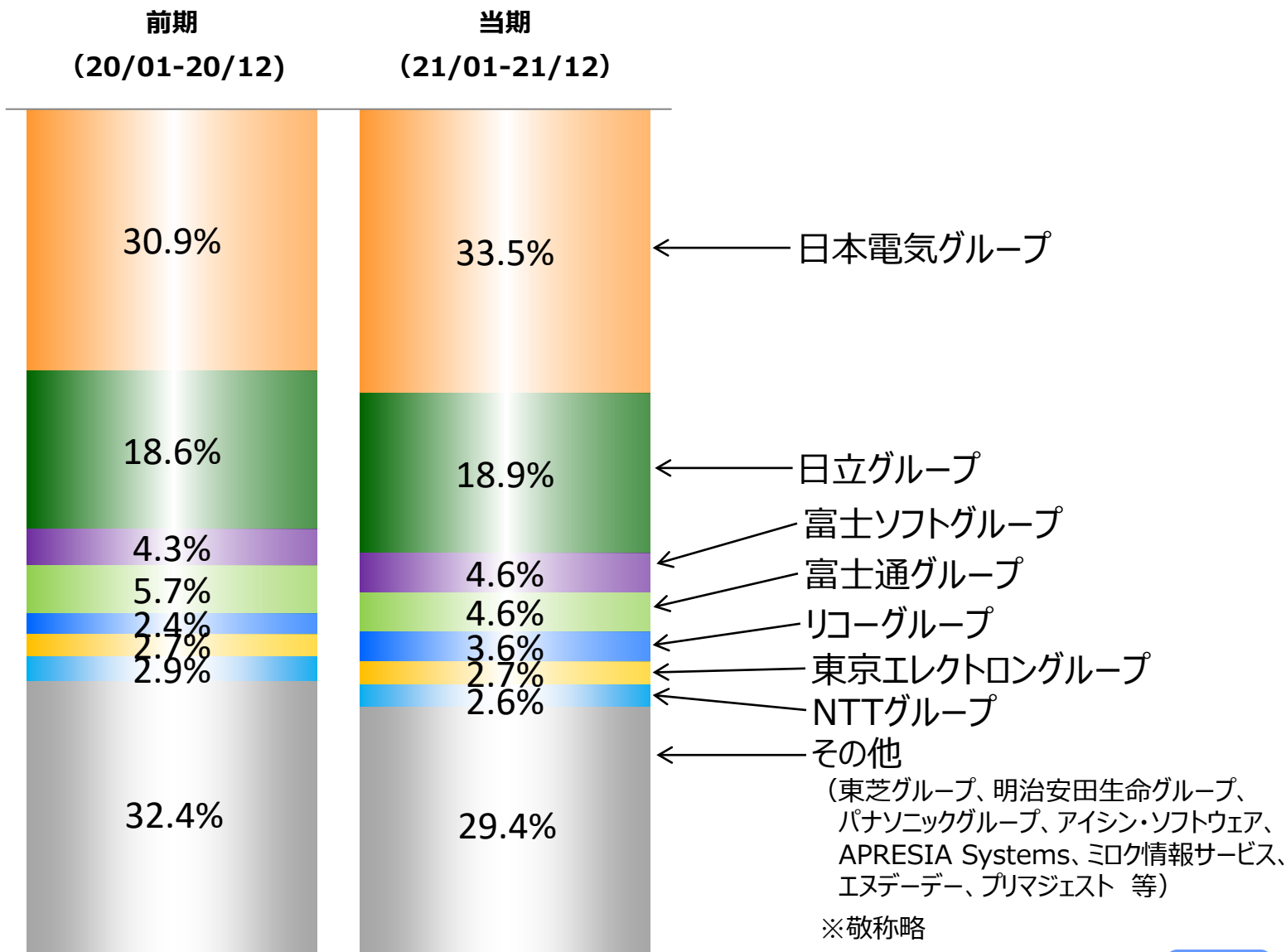
(単位：百万円)

	2020年12月期			2021年12月期			
	(2020年1月～12月)			(2021年1月～12月)			
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期差	前期比
ソフトウェア開発事業	10,694	78.2%	▲5.2%	12,238	78.8%	1,543	+14.4%
通信ソフトウェア開発	2,323	17.0%	+28.9%	3,256	21.0%	933	+40.2%
通信基盤	1,785	13.1%	+42.9%	2,826	18.2%	1,041	+58.3%
その他通信	538	3.9%	▲2.6%	429	2.8%	▲108	▲20.2%
制御ソフトウェア開発	2,721	19.9%	▲17.6%	2,685	17.3%	▲36	▲1.3%
車載	1,560	11.4%	▲18.4%	1,312	8.5%	▲248	▲15.9%
その他制御	1,160	8.5%	▲16.4%	1,372	8.8%	211	+18.3%
業務ソフトウェア開発	5,649	41.3%	▲8.5%	6,296	40.6%	647	+11.5%
金融	1,637	12.0%	▲27.5%	1,713	11.0%	76	+4.7%
情報通信	893	6.5%	+20.4%	971	6.3%	77	+8.7%
公共	854	6.3%	+0.9%	908	5.8%	53	+6.2%
製造	684	5.0%	+62.5%	891	5.7%	207	+30.3%
流通	424	3.1%	▲23.9%	625	4.0%	200	+47.2%
医療	596	4.4%	+9.4%	507	3.3%	▲89	▲15.0%
その他業務	558	4.1%	▲30.2%	679	4.4%	121	+21.7%
サービス事業	2,926	21.4%	+11.0%	3,263	21.0%	336	+11.5%
ファシリティ事業	50	0.4%	▲6.1%	26	0.2%	▲24	▲47.3%
合計	13,672	100.0%	▲2.1%	15,528	100.0%	1,856	+13.6%



## 2. 参考情報（顧客別売上構成比）

### 顧客別売上構成比（前期比較）



## 3. 参考情報（会社概要）

## 会社プロフィール

名称： サイバーコム株式会社 **Cyber Com CO.,Ltd.**

所在地： 本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル  
 横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34

設立： 1978年12月4日

代表者： 代表取締役社長 渡辺 剛喜

資本金： 3億99百万円

社員数： 1,169名（2022年1月末現在）

事業内容： ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

## 2021年12月期の主なニュース

日付	内容
2021/12/24	ニッポン放送「第47回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」に協賛（～12/25）
2021/10/20	DMMオンライン展示会「業務改善DX EXPO ONLINE」に出展（～10/22）
2021/10/08	コーポレートサイトのトップページをリニューアル、お客様向けに「お困りごとを解決」と「各エリア」のページを開設
2021/09/17	株主名簿管理人を三菱UFJ信託銀行株式会社へ変更
2021/07/12	ニューノーマル時代のテレワーク向けオンライン展示会「第1回テレワーク・在宅勤務支援EXPO in オンライン」に出展（～07/16）
2021/07/01	『楽々セキュアコネクト』キャンペーン実施を公表（キャンペーン実施期間：2021/07/12～09/30）
2021/02/24	2020年12月期 決算説明会の動画を配信開始

# サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する



## 当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。